

慢性腎臓病 (CKD)を 予防しよう!

慢性腎臓病(CKD):あまり耳慣れない方もいらっしゃるかもしれませんが、患者数は成人の8人に1人と考えられ、新たな国民病ともいわれています。

腎臓は、血液をろ過し、老廃物、余分な水分および電解質を排泄することによって、体内の毒素を除去し、体液のバランスを調整するなどの重要な役割を担っています。

慢性腎臓病(CKD)によって腎臓の機能が低下し続けることで様々な問題が発生します。

腎臓の機能は、血液検査結果に表示される「血清クレアチニン値(Cre)」「eGFR」などの項目の数値から大まかに判断することができます。

はるか薬局では、患者様の血液検査の結果を確認させて頂き、上記「eGFR」に低下(45未満)がみられる場合、患者様に同意を頂いた上で、おくすり手帳の表紙にCKDシールを貼付するという取り組みを行っております。これにより、お薬の減量や変更の検討が必要なケースに対し、適切な対応が可能となります。

薬局から血液検査値の確認をお願いした際には、ぜひご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

(薬剤師:西 淳子)



たいじょうほうしん 帯状疱疹について

近年、患者数が増加傾向にあり、80歳までに約3人に1人が発症するとされている帯状疱疹についてお話しします。



帯状疱疹とは

帯状疱疹は、水痘(水ぼうそう)と同じウイルス「水痘・帯状疱疹ウイルス」が原因となります。

初めて感染すると水痘を発症し、治癒した後もウイルスの一部は神経の根元にある神経節に潜伏しています。

加齢やストレス、病気などで免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが再び活動を始めて帯状疱疹が引き起こされるため、水痘にかかったことがある人なら帯状疱疹になる可能性があります。



带状疱疹の症状と後遺症

主な症状は、痛みやかゆみを伴う発疹です。

発疹が出現する前に、体の左右どちらか片側で、皮膚に違和感やピリピリとした痛みが生じます。

その後発疹が現れ、水ぶくれや膿疱(のうほう)になり、やがて破れてかさぶたとなり治癒します。

一般的には、皮膚症状が治まると痛みもなくなりますが、皮膚症状が治まった後も痛みが消えずに持続することがあり、これを「带状疱疹後神経痛(PHN)」といいます。

高齢者ほどPHNに移行しやすく、带状疱疹による症状が重かった場合もPHNになりやすいとされています。

また、発症部位によっては角膜炎や難聴、顔面神経麻痺などの合併症が生じることもあります。



予防と治療



带状疱疹の予防には、バランスの良い食事、適度な運動や十分な睡眠など、免疫力を低下させない生活習慣を心掛けることが大切です。

また、発症頻度が高くなる50歳以上の方は、ワクチン接種をすることで発症

予防、重症化予防が期待できるとされています。

※接種ができない、あるいは注意が必要な方もいますので、接種にあたっては医師にご相談ください。

外来ではウイルスの増殖を抑える抗ウイルス薬の早期投与が効果的といわれています。治療が遅れた場合には、重症化やPHNに移行する可能性は高まりますので、痛みや皮膚症状が出現したときには、できるだけ早く医療機関を受診しましょう。

(薬剤師：藤田 雅子)



健康まつりに ご来場 ありがとうございました!

去る9月10日、治水公園にて4年ぶりに第35回健康まつりが開催され、地域や友の会の方達と交流することができました。

新型コロナウイルス流行による中止が続き、当日は台風の影響による悪天候も心配されましたが、そのような心配も全く必要ないぐらいの快晴に恵まれました。朝から気温が高く、はるか薬局で提供したタピオカドリンクとバジルウォーターも好評をいただきました。お薬相談コーナーでも、日ごろ聞けない薬についての悩みも時間をかけて相談することもできたのではないのでしょうか。

はるか薬局は、地域や友の会の方々を支えられています。友の会に興味のある方は、はるか薬局でも入会申し込み手続きが可能ですので、お気軽に職員にお声がけください!

(事務：中井 康平)



【営業時間変更のお知らせ】

10月より、毎週水曜日の営業時間が17:00までに短縮となります。
他の曜日の営業時間に変更はありません。

～はるか薬局緊急時電話番号～



0154-31-7811または
090-3775-3026

夜間、日曜祝日等の閉店時で緊急の対応を要する場合がございます。



お知り合いの薬剤師・薬学生の方を
ご紹介下さい 奨学金制度もあります

※詳しくは、あゆみ調剤までご連絡下さい。

☎ 0154-31-7811